

第1002回教育委員会会議録概要

1 日 時 平成26年5月14日（水）午後3時30分～

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 川畑委員長 吉井委員 小泉委員 西野委員 林教育長
国久企画幹 三田村企画幹（学校教育） 松田企画幹（高校改革）
上野企画幹（義務教育） 穴吹教育振興課長 田中高校教育課長
山元生涯学習・文化財課長

4 議 題

日程第1 第 8号議案 いじめ調査専門委員会委員の委嘱について

日程第2 第 9号議案 福井県心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について

日程第3 第10号議案 福井県社会教育委員の委嘱について

日程第4 第11号議案 平成27年度福井県公立学校教員採用選考試験について

5 審議事項

(1) 開会宣告 午後3時30分

(2) 会議録署名人の指名 小泉委員 吉井委員

(3) 議事要録

委員長 本日の日程第1、第8号議案から日程第3、第10号議案までの3議案
について非公開としたい旨発議

—————当該議案を非公開と決定—————

委員長 日程第1、第8号議案を議題

高校教育課長 資料に基づき説明

委員長 第8号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

委員長 日程第2、第9号議案を議題

高校教育課長 資料に基づき説明

委員長 就学指導をする際、保護者が特別支援学校を希望しない場合でも、医師の意見はよく聞くというようなことを耳にするが、どうであるか。

高校教育課長 昨年、法改正されたが、就学支援に関して方針が大きく変わったわけではない。保護者が、どうしても特別支援学校を拒む場合は、強制力はない。

吉井委員 医師が不勉強な場合もあるので、学校を視察してもらってはどうかと思う。

委員長 第9号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

委員長 日程第3、第10号議案を議題

生涯学習・文化財課長 資料に基づき説明

委員長 第10号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

委員長 日程第4、第11号議案を議題

企画幹（高校改革） 資料に基づき説明

委員長 募集人数について、過去の実績は。

企画幹（高校改革） 教諭の募集人数は、平成23年度が155名、平成24～26年度が180名である。

西野委員 高等学校農業の教諭の募集はないのか。

企画幹（高校改革） 退職する教員数等の関係もあり、すべての教科について毎年募集するわけではない。

委員長 スポーツ特別選考の募集人数について、過去の実績は。

企画幹（高校改革） 平成24年度は4名、25年度が5名、26年度が6名である。

林教育長 スポーツ特別選考については、優秀な指導者を確保していきたいと考えている。また、教諭の募集人数全体については、今後数年、退職する教員数が増えるため、募集人数を増やすことも考えられるが、一方で少子化の推移を見据えながら検討していきたい。

小泉委員 応募者数は、資質の高い教員の絶対数に比例すると思うので、昨年度の応募者数を上回るように頑張っていたきたい。

委員長 第11号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

◎協議・報告事項

(1) 授業改善を推進するためのICT機能を活用したスマート教育開発について

吉井委員 来年度以降の進め方については、どのように考えているか。

企画幹（高校改革） 継続拡充していきたいと考えているが、効果についての実証を行うとともに、全国でICT機能やデジタル化が急速に進むことを見据えながら取り組んでいきたい。

林教育長 子どもたち全員にタブレットを持たせている佐賀県においても、どう活用していくかということについては、まだこれからの話のようである。今後、試行錯誤しながら、授業改善を行う中でICT機能を活用していきたい。

(2) 「夢や希望を育て未来を築く教室」の開催について

小泉委員 奥越明成高校で実施予定となっているが、勝山高校や大野高校にも広げるなど検討いただきたい。

委員長 対象が1クラスとなっているが、もったいないので、全校生徒対象にするようなことはできないのか。

企画幹（高校改革） いわゆる講演の形ではなく、講師と生徒の双方向でやりとりできる授業を行いたいと考えているため、どうしても規模は小さくなる。

委員長 これで本日の会議の終了を宣告